

管内月間火山概況（平成 22 年 4 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月11日現在）

- 火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）：桜島
- 火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）：霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
- 噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）：九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
- 噴火予報（平常）：阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>)や気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。今回の管内月間火山概況（平成 22 年 5 月分）は平成 22 年 6 月 8 日に発表する予定です。この資料は気象庁のほか、九州地方整備局大隅河川国道事務所、国土地理院、東京大学、京都大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、大分県、鹿児島県及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項

霧島山（新燃岳）では、16日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げましたが、その後、5月6日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

16日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引下げ、5月6日（期間外）に噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引上げ

3月30日のごく小規模な噴火の発生後、噴煙活動は低調に経過し、火山性地震は4月7日以降少ない状態で経過しました。また、火山性微動は3月31日以降発生していません。これらのことから火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、16日に噴火予報を発表して噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げました。

17日01時15分頃、ごく小規模な噴火が発生し、火口内の南から南西側にかけてわずかに灰色に変色していました。

5月6日（期間外）07時頃から火山性地震が増加し、火山活動が高まりました。このため、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるかと判断し、同日6日14時00分に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

2009年6月下旬以降活発化した桜島の噴火活動は、同年10月頃から更に活発となっており、昭和火口では、噴火の多い状態が続いています。

地殻変動観測では、2010年初め頃から桜島島内で伸びが観測されています。

今後、更に火山活動が活発化する可能性が高いと考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

さつまいおうじま

薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。

火山性地震はやや多い状態が続いています。

硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

くちのえらぶじま

口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いていましたが、7日以降は少ない状態で経過しました。

その他の観測結果に特段の変化はなく、新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では引き続き噴煙がみられており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳火口では、噴火が断続的に発生しました。火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。